職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 日本工学院専門			以可年月	1 D YX1	長名			<u>所在地</u>			
	門学校	昭和51			英詞	(住所) 耳	44-8655 東京都大田区西蒲E 03-3732-1111				
設置者名 学校法人片柳		設立認 昭和25			者名	〒 1	44-8655 東京都大田区西蒲E	所在地 B5-23-22			
分野		認定課程名	- 1 - 7 2	認定学科名		(電話) C)3-6424-1111 士認定年度	高度専門士認	宁年度	一時業宝埕市	專門課程認定 年歷
工業		<u> </u>		ITスペシャリス		 	一	<u> </u>			26(2014)年度
学科の目的	急速に変化	化し続けるIT業界	ンターン	L ご活躍できる高いスキル シップやPBL(Project E	を身につけ						
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)											
修業年限	昼夜	全課程の修了		な総授業時数又は総 立数	講	義	演習	実習		実験	実技
4	昼間	※単位時間、単位 かに記入	ないずれ	3,480 単位時間 単位	2,670	単位時間単位	0 単位時間	4,100 単位時間 単位		0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員		実員(A) [留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生害	引合(B/A)					
320 人	291	Д		3 人	1	%					
	■卒業者		:	93		<u> </u>					
	■就職者		:	92 91		<u>^</u>					
	■地元就 ■就職率	職者数(F) (F/D)		99	-	人					
		に占める地元就	沈職者の)割合 (F/E)		•					
	■卒業者	に占める就職者	の割合	(E/C)		%					
				98		%					
	■進学者 ■その他			1		^					
計画体の作品											
就職等の状況											
	1人										
	'										
	(令和	6 年月 職 先、業界等	要卒業者	た関する令和7年5月	1 日時点の作	青報)					
	(令和6年度										
			미구기	**							
			エフノイ:	業界 等 (アイリスオ	ーヤマ、サ	ナイバーコム	、、ラック、富士ソフト	、CTCテクノロジー、	エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
第三者による	┃■足関の				ーヤマ、 +	ナイバーコム		、CTCテクノロジー、	エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
		評価機関等か	ら第三	者評価:	ナーヤマ、 <u>+</u>	ナイバーコム	、、ラック、富士ソフト	、CTCテクノロジー、	エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
学校評価	※有の場合	合、例えば以下につ	ら第三	者評価: 意記載		ナイバーコム	無 無 評	価結果を掲載した	. エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
学校評価	※有の場合		ら第三	者評価: 意記載	ーヤマ、	ナイバーコム	無 無 評		エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
	※有の場合	3、例えば以下についます。 評価団体:	ら第三ついて任	者評価: 意記載	受審年月:	ナイバーコム	無 無 評	価結果を掲載した	エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
学校評価 当該学科の	※有の場合 http://wv	計、例えば以下にない 評価団体: ww.neec.ac.jp/c	いら第三 ついて任 departn	者評価:	受審年月:	ナイバーコム	無 無 評	価結果を掲載した	エヌ・ティ	ィ・ティエムイー	等)
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://wv	ネ、例えば以下にで 評価団体: vw.neec.ac.jp/c 立時間による算	いら第三 ついて任 departn	者評価:	受審年月:	ナイバーコム	無 無 評	価結果を掲載した			等)
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://wv	・例えば以下についます。評価団体:ww.neec.ac.jp/c立時間による算数総授業時数	Nら第三 ついて任 departn 定)	者評価: 意記載 nent/design/graphic:	受審年月:		無 無 評	価結果を掲載した	4, 9	05 単位時間	等)
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://wv	a、例えば以下につ 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算: 総授業時数 うた	から第三 ついで任 departn 定)	者評価: 意記載 nent/design/graphics 身と連携した実験・実	受審年月: s/ 習・実技の		無 無 評	価結果を掲載した	4, 9		等)
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://wv	a、例えば以下につ 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算: 総授業時数 うた	から第三 ついで任 departn 定)	者評価: 意記載 nent/design/graphic:	受審年月: s/ 習・実技の		無 無 評	価結果を掲載した	4, 9	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間	等)
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://wv	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うき	Nら第三 ついて任 departn 定) ち企業等	者評価: 意記載 nent/design/graphic: peと連携した実験・実 peと連携した演習の授 受業時数	受審年月: s/ 習・実技の 業時数	授業時数	無	価結果を掲載した	4, 9	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間	等)
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://wv	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うき	Nら第三 ついて任 departn 定) ち企業等	者評価: 意記載 nent/design/graphic: peと連携した実験・実 peと連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した	受審年月: s/ 習・実技の 業時数 た必修の実	授業時数 験・実習・実	無 評 ポ	価結果を掲載した	4, 9	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間	等)
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 http://ww (A:単f	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま うま	nら第三 ついて任 departn 定) ち企業等 ち企業等 ち必修抒	者評価: 意記載 nent/design/graphic: pe と連携した実験・実 をと連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **	授業時数 験・実習・実 習の授業時数	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間 0 単位時間	等)
学校評価 当該学科のホームページ URL	※有の場合 http://ww (A:単f	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま うま	nら第三 ついて任 departn 定) ち企業等 ち企業等 ち必修抒	者評価: 意記載 nent/design/graphic: peと連携した実験・実 peと連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した	受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **	授業時数 験・実習・実 習の授業時数	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	(納えば以下にご評価団体:(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)<li< td=""><td>から第三 のいで任 departn 定) ち企業等 ち必修持</td><td>者評価: 意記載 nent/design/graphic: pe と連携した実験・実 をと連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し</td><td>受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **</td><td>授業時数 験・実習・実 習の授業時数</td><td>無評がまた。</td><td>価結果を掲載した</td><td>4, 9 1 3, 3</td><td>05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間 0 単位時間</td><td>等)</td></li<>	から第三 のいで任 departn 定) ち企業等 ち必修持	者評価: 意記載 nent/design/graphic: pe と連携した実験・実 をと連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **	授業時数 験・実習・実 習の授業時数	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間 0 単位時間	等)
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	※有の場合 http://ww (A:単化	(納えば以下にご評価団体:(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)(本語)<li< td=""><td>から第三 のいで任 departn 定) ち企業等 ち必修持</td><td>者評価: 意記載 nent/design/graphic: pe と連携した実験・実 をと連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し</td><td>受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **</td><td>授業時数 験・実習・実 習の授業時数</td><td>無評がまた。</td><td>価結果を掲載した</td><td>4, 9 1 3, 3</td><td>05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間 0 単位時間</td><td>等)</td></li<>	から第三 のいで任 departn 定) ち企業等 ち必修持	者評価: 意記載 nent/design/graphic: pe と連携した実験・実 をと連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **	授業時数 験・実習・実 習の授業時数	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 80 単位時間 0 単位時間	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	 (納えば以下にご評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま 立数による算定 総授業時数 	rish 第三 rish 第三 rish が rish w rish w rish が rish が rish が rish が rish w rish w rish w rish w rish w ris	者評価: 意記載 nent/design/graphic: pe と連携した実験・実 をと連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: *** ** ** ** ** ** ** ** **	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) の授業時数)	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 20 単位時間	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	 (例えば以下にご評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うた。 立数による算定 総授業時数 うた。 な数による算定 	から第三 ついて任 departn 定) ち企業等 きち必修 持 う う ち企業	者評価: 意記載 nent/design/graphics 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し き等と連携したインタ	受審年月: s/ 習・実技の 業時数 た必修の実! た必修の演 ーンシップ	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) の授業時数)	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位時間	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	 (例えば以下にご評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま 立数による算定 総授業時数 うま うま 	No 第三 で	者評価: 意記載 nent/design/graphics 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ	受審年月: s/ 習・実技の 業時数 た必修の実! た必修の演 ーンシップ	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) の授業時数)	無評がまた。	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	 (例えば以下にご評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま 立数による算定 総授業時数 うま うま 	No 第三 で	者評価: 意記載 nent/design/graphics 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	受審年月: 「おります」 「おりますることはますます。 「おりますることはますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数)	無評なないでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	 (例えば以下にご評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま 立数による算定 総授業時数 うま うま 	No 第三 で	者評価: 意記載 nent/design/graphics pと連携した実験・実 を連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ を等と連携した大変との授 を等と連携した演習の授 を要と連携した演習の授 を要等をを連携した演習の授 を要等を変	受審年月:	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 授業時数	無評が、	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 単位 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま うま うま うま うま うま うま うま うま うま	s ら第三 で C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	者評価: 意記載 nent/design/graphics pと連携した実験・実 を連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインタ をと連携した演習の授 要と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した演習の授 要業時数	受審年月: ***********************************	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 授業時数 験・実習・実 なの授業時数	無評が、	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 単位 単位 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま うま うま うま うま うま うま うま うま うま	s ら第三 で C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	者評価: 意記載 ment/design/graphics peと連携した実験・実 peと連携した演習の授 要等時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携した方習の授 要に連携した演習の授 要に連携した演習の授 要に連携した演習の授 要に連携した演習の授 要に連携した演習の授 要に連携した演習の授 要に連携した演習の授 要に要ける まる企業等と連携し まるに まるに まるに まるに まるに まるに まるに まる	受審年月: ***********************************	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 授業時数 験・実習・実 なの授業時数	無評が、	価結果を掲載した	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位位時間 単位 単位 単位 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま うま うま うま うま うま うま うま うま うま	京の 京で 一 で の の の の の の の の の の の の の	者評価: 意記載 ment/design/graphic: 夢と連携した実験・実 夢と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携した方習の授 要業時数 うち企業等と連携した を等と連携した方音等と連携し うち企業等と連携した の授 要業時数	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 ・ 実数 『 ・ 実数 』 で ・ 実数 』 で ・ 実数 』 で ・ で で の の ップ 』 で に 、 で 、 で 、 ・ 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 験・実習・等数 の授業時数)	無評が、	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 0 単位時間 20 単位位時間 単位 単位 単位 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれか	※有の場合 http://ww (A:単化	a、例えば以下に一評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うまうま 立数による算定 総授業時数 うまった。 で学生 うまった。 でで把程の いてで表現を	第一年 ・ SPT CH	者評価: 意記載 ment/design/graphic: pe と連携した実験・実 pe と連携した演習の授 要幹時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ををと連携した方面の授 要業時数 うち企業等と連携した を変素をと連携した を変える者	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 ・ 実数 『 ・ 実数 』 で ・ 実数 』 で ・ 実数 』 で ・ で で の の ップ 』 で に 、 で 、 で 、 ・ 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	授業時数 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	無評が、	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 30 単位時間 30 単位時間 20 単位は時間 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位	等)
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うま うま うま うま うま でをの課せてかる ででで呼渡していてきでのではです。 では、これですべきでは当めた。 では、これですべきでのでは、これですでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	第で任任任任 ・ Special departm ・ S	者評価: 意記載 ment/design/graphic: pe と連携した実験・実験と連携した演習の授い。 を変ける主義をと連携した演習の授い。 pe と連携した演習の授います。 pe と連携したなる者 pe と連携した後者等と連携しませる者 pe を はまます。 pe を はままする pe を はままする	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 ・ 実数 『 ・ 実数 』 で ・ 実数 』 で ・ 実数 』 で ・ で で の の ップ 』 で に 、 で 、 で 、 ・ 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	授業時数 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	無 評大 を技の授業時数 な を設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 20 単位時間 20 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人	等)
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うさ うさ 立数による事数 うさ うさ でででででででででは、 ででの課せで、ででは、 ででででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 でい。 でいる。	を 京で 全企企 を を を を を を を を を を を を を	者評価:意記載 ment/design/graphics pe と連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した大変である。 な業等と連携した大変である。 なきと連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携したなる者 まる者等 を験者	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 また ・ と必 ・ 実数 『 また ・ と必 ・ と必 ・ と 』 で に 、 また ・ と ・ また ・ ・ また ・ と ・ また ・ と ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 ・要 で授業時数 ・実 で授業時数 ・実 でで でで でで でで でで でで でで でで でで で	無 解 を を を を を を を を を を を を を	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 20 単位時間 20 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位 1 人 2 人	等)
学校評価 当該学科のホームのでは、 以RL 金業等のと連携を表する、に記入)	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	a、例えば以下に一評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うさうな なる算定 総授業時数 うさった うな数による第定 を被授業時数 うさった うな数による第定 でする。 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	を 京で 全企企 を を を を を を を を を を を を を	者評価:意記載 ment/design/graphics pe と連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した大変である。 な業等と連携した大変である。 なきと連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携したなる者 まる者等 を験者	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 また ・ と必 ・ 実数 『 また ・ と必 ・ と必 ・ と 』 で に 、 また ・ と ・ また ・ ・ また ・ と ・ また ・ と ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 での授業時数) (専修学や (専修学や	無 戻技の授業時数 対 を設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 20 単位時間 20 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位 1 人 2 人 0 人 5 人	等)
学校評価 当該学科のホームのでは、 は、	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	a、例えば以下に一評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うさ 立数による第定 総授業時数 うさ うさ 立数による第定 心攻専門第して学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を 京で 全企企 を を を を を を を を を を を を を	者評価:意記載 ment/design/graphics pe と連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した大変である。 な業等と連携した大変である。 なきと連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携したなる者 まる者等 を験者	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 また ・ と必 ・ 実数 『 また ・ と必 ・ と必 ・ と 』 で に 、 また ・ と ・ また ・ ・ また ・ と ・ また ・ と ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 での授業時数) (専修学や (専修学や	無 解 を を を を を を を を を を を を を	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 20 単位位時間 20 単位位 単単位 単位位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人	等)
学校評価 当該学科のホームのでは、 は、	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	a、例えば以下に一評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による算 総授業時数 うさうな なる算定 総授業時数 うさった うな数による第定 を被授業時数 うさった うな数による第定 でする。 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	を 京で 全企企 を を を を を を を を を を を を を	者評価:意記載 ment/design/graphics pe と連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した大変である。 な業等と連携した大変である。 なきと連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携したなる者 まる者等 を験者	受審年月: 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ 実技の 『 非 ・ を必必 ・ 実技 』 で ・ 実数 『 また ・ と必 ・ 実数 『 また ・ と必 ・ と必 ・ と 』 で に 、 また ・ と ・ また ・ ・ また ・ と ・ また ・ と ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・ ・ また ・	授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 での授業時数) (専修学や (専修学や	無 戻技の授業時数 対 を設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項 対設置基準第41条第1項	価結果を掲載した 一ムページURL	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 20 単位時間 20 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位 1 人 2 人 0 人 5 人	(等)
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等をの実施状れかした状況の属性(に記入)	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	a、例えば以下に 評価団体: ww.neec.ac.jp/c 立時間による 総授業時数 うまう 立数による 変表 総授業時数 うまう で実際 で表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表	等で は ない は は は は ま で は ない は は は は ま で は ない は	者評価:意記載 ment/design/graphics pe と連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した大変である。 な業等と連携した大変である。 なきと連携した実験・実験と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携したインタ な業等と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携したなる者 まる者等 を験者	受審年月 : ・	授業時数 ・実習・等数 の授業時数) 授業時数 で表別で表別である。 では、事務をできまする。 では、事務をできます。 では、事をできます。 をは、事をできます。 では、事をできます。 では、事をできます。 をは、事をできます。 をは、事をできます。 をは、事をできます。 をは、事をできます。 をは、事をできます。 ・では、事をできます。 ・では、	無 解表 に表する。 にまる。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。	価結果を掲載した 一ムページURL 賃第1号) 賃第2号) 賃第3号) 賃第4号) 賃第5号)	4, 9 1 3, 3	05 単位時間 80 単位時間 0 単位時間 30 単位時間 20 単位位時間 20 単位位 単単位 単位位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人	(等)

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の 編成を行っていること。 | 関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施。カリキュラム検討メンバーが、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュ ラム(案)を策定し、分科会で検討を進めてカリキュラムに反映させる。またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて 総合的に検証する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木田 徳彦	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 人材委員会副委員長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
藤井 洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
河野 浩	株式会社STVテック 代表取締役社長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(3年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(4年)	_
兒島 正広	日本工学院専門学校 ITカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(5年)	_
中西 真也	日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(6年)	_
降矢 理人	日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科 主任	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(7年)	_
			_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 2025年3月22日 ハイブリッド(対面+Web)会議方式

第2回 2025年9月19日を予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員より専門学校の教育ではハードウェア知識中心の学習ではなくて、「IoTを活用していかにビジネスに結びつけていくか」、 「電子デバイス会社とパートナーを結ぶのかベスト」などの目標の位置づけや企業連携についてご意見を頂いた。なお「IoTもの づくり実習」を介して学内コンテストを体験する過程を動機付けとする方法など授業内容をさらに改善し工夫した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指 導などを受けられる企業を選定する。企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標 を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成 績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容や方法に企業の最新技術や課題を取り入れ、実習・演習は企業と連携して実施する。また学修成果は企業担当者の 評価を反映し、実務能力の向上と社会的要請に応える教育を推進している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
IoTものづくり実習	ハードウェアを制御する簡易的なプログラムを作成します	ソニーグループ株式会社
AIシステム開発1	eラーニングでAIの概要についての学習し、AI分析のコンペ に参加します	株式会社SIGNATE
Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目にもなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます	トレランスアクト株式会社
クラウドコンピューテ グ1	ィン クラウドコンピューティングの概要を理解し、クラウド環境で のITの利活用について学びます	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
テスト技法	ソフトウェア開発やシステム運用管理におけるテスト技法に ついて学びます	(一社)IT検証産業協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科 の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することによ り、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 教職員向けAI業務活用セミナー 連携企業等: 日本工学院 生成AI研究会

ITスペシャリスト科教員及び 対象: 期間: 2024年7月25日 全教員

内容 生成AIの教育現場への活用方法について

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等:株式会社クリエイティブシフト 研修名: パターンランゲージ活用研修

対象: ITスペシャリスト科教員及びITカ レッジ教員 期間: 2025年3月18日

熟練者の実践知を「状況・問題・解決」の構造で言語化し、知識を他者と共有・活用できるようにする手法を学ぶ 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

AWS Academy 講師向けワークショップ 研修名: 連携企業等: AWS Academy Japan

対象:ITスペシャリスト科教員及びITカ レッジ教員 期間: 2025年12月開催を計画

AWSコースの要点や学生に伝えるポイントなどについて触れつつ、教員間での指導方法などでの議論する 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 公益財団方針東京都私学財団 STEAM教育、職業教育、プログラミング教育 研修名:

ITスペシャリスト科教員及び 対象: ITカレッジ教員 期間: 2025年12月開催を計画

内容 STEAM教育、職業教育、プログラミング教育の先進事例を学ぶ 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	IT企業等委員 /卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
平川 進	株式会社テレビ神奈川ecom事業局 ecom事業部	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員/ 卒業生委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進グループセクションチーフ	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ /デザイン企業 等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例)企業等委員、PTA、卒業生等

URL

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他(

https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員·教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設·設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

〔ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

授業科目等の概要

	(_	工業	専門	課程 ITスペシ	ィャリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	į			= 7	1777		授	後業プ		場	所	教	員	
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		校外			とのさ
1	0			キャリアデザ イン 1	就職するにあたっての心構えや、自分に合った 仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄 を学びます。また、エントリーシート、履歴書 の書き方から面接対策を学びます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
2	0			キャリアデザ イン2	就職するにあたっての心構えや、自分に合った 仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄 を学びます。また、エントリーシート、履歴書 の書き方から面接対策を学びます。	1 · 後	30	2	0			0		0		
3	0				パソコンを使い、多くの人の前で発表する技術 を身につけます。	1 • 後	30	1			0	0		0		
4			0	スポーツ実習 1	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めま す。	1 • 後	30	1			0		0	0		
5	0			ストラテジ・ マネジメント	システム戦略や経営戦略、プロジェクトマネジ メントやサービスマネジメントなど、ストラテ ジとマネジメントの分野について学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
6	0			ITトレンド技 術	AI,Webシステム、クラウド、セキュリティに関する概要を学びます。	1 · 後	30	2	0			0		0		
7	0			コンピュー タ・テクノロ ジー 1	コンピュータの基礎理論などテクノロジ分野に ついて学びます。	1 · 前	60	4	0			0		0		
8	0			コンピュー タ・テクノロ ジー2	システム開発技術などテクノロジ分野について 学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
9	0			IoTもの作り 実習	ハードウェアを制御する簡易的なプログラムを 作成します。	1 • 前	30	1			0	0		0	0	0
10	0			IoT実習 1	ネットワーク経由でハードウェアを制御する簡 易的なプログラムを作成します。	1 · 後	30	1			0	0		0		
11	0			ネットワーク 実習	LANやWANなどを中心とした基礎的なネットワー ク技術を学習します。	1 · 後	60	2			0	0		0		
12	0			情報系資格対 策講座 1	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を行います。	1 • 前	30	2	0			0		0		
13	0			情報系資格対 策講座 2	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を行います。	1 · 後	60	4	0			0		0		
14				基本情報対策 講座 1	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	1 · 後	45	3	0			0		0	0	
15			0	資格対策講座 1	各種検定資格の対策を行います。	1 • 前	30	2	0			0			0	
16			0	資格対策講座 2	各種検定資格の対策を行います。	1 • 後	30	2	0			0			0	
17			0	特別講座 1	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	1 · 前	15	1	0			0			0	

	(_	工業	専門	課程 ITスペシ	ノャリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	į				155		授	美業ス		場	所	教	員	_
		選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実習			専任	兼任	との
18			0	特別講座 2	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	1 · 後	15	1	0			0			0	
19	0			Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試 験の科目にもなった表計算ソフトなどのアプリ ケーション操作を学びます。	1 • 前	60	2			0	0			0	0
20	0			Web開発基礎	ブラウザから利用するWebシステムの基礎となる 技術を学びます。	1 • 後	60	2			0	0			0	
21	0				プログラムを作成する上で重要なアルゴリズム を情報処理試験対策も含めて学習します。	1 • 前	30	2	0			0		0		
22	0			プログラミン グ実習 1	プログラムの基本構造を学び、実際にプログラ ムを作成します。	1 · 前	60	2			0	0		0		
23	0			プログラミン グ実習 2	「プログラミング実習1」をベースに、より実 践的なプログラミング技術を学びます。	1 · 後	90	3			0	0		0		
24	0				リレーショナル型データベースの構造や管理機 能などデータベースの基礎を学びます。	1 · 後	60	2			0	0		0		
25			0	校外研修 1	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1 • 前	30	1			0		0	0		
26			0	校外研修 2	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1 · 後	30	1			0		0	0		
27	0			キャリアデザ イン3	就職するにあたっての心構えや、自分に合った 仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄 を学びます。また、エントリーシート、履歴書 の書き方から面接対策を学びます。	2 • 前	30	2	0			0		0		
28	0			キャリアデザ イン4	就職するにあたっての心構えや、自分に合った 仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄 を学びます。また、エントリーシート、履歴書 の書き方から面接対策を学びます。	2 • 後	30	2	0			0		0		
29	0			ロジカルシン キング	論理的思考方法を学び、ライティングスキルな どを身につけます。	2 · 後	30	2	0			0		0		
30			0	スポーツ実習 2	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めま す。	2 • 後	30	1			0		0	0		
31	0			外国語 1	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	2 • 前	30	2	0			0			0	
32	0			UML演習	【AI・システム専攻】UML図の記述方法について 学びます。	2 • 前	30	2	0			0		0		
33	0			情報セキュリ ティ	企業の業務システムやコンピュータシステムを 安全に利用するために求められる情報セキュリ ティについて学習します。	2 • 前	30	2	0			0		0		
34	0			クラウドコン ピューティン グ 1	実際の業務でも使用されるクラウドサービスなど、最先端のITサービスを体験します。	2 • 後	60	2			0	0		0	0	0

				課程 ITスペシ	ィャリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	į			# 7	120		授	業プ		場	所	教	員	^
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校 外			企業等との連携
35	0			IoT実習 2	各種センサーを利用したプログラムの企画から 開発、テストまでを行います。	2 • 前	30	1			0	0			0	
36	0			数学·統計	【AI・システム専攻】AIプログラミングやデータ分析に必要な数学・統計学の基礎を学びます。	2 • 前	30	2	0			0		0		
37	0			情報系資格対 策講座3	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を行います。	2 • 前	60	4	0			0		0	0	
38	0			情報系資格対 策講座 4	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を行います。	2 • 後	60	4	0			0		0	0	
39			0	基本情報対策 講座 2	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	2 • 前	45	3	0			0		0	0	
40			0	基本情報対策 講座 3	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	2 • 後	45	3	0			0		0	0	
41			0	資格対策講座 3	各種検定資格の対策を行います。	2 • 前	30	2	0			0			0	
42			0	資格対策講座 4	 各種検定資格の対策を行います。 	2 • 後	30	2	0			0			0	
43			0	特別講座3	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	2 • 前	15	1	0			0			0	
44			0	特別講座 4	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	2 • 後	15	1	0			0			0	
45	0				Linux0Sのインストールや環境設定を行い、 Linuxコマンドなどを使った基本操作を学びま す。	2 • 前	60	2			0	0			0	
46	0			Linux実習 2	LinuxOSを使用してインターネットで利用される 様々なサーバを構築します。	2 • 後	60	2			0	0			0	
47	0			データベース 実習 2	リレーショナル型データベースの構築から操作 までを実習を通じて学びます。	2 • 前	30	1			0	0		0		
48	0			AI システム開 発 1	【AI・システム専攻】データ前処理、機械学習 (教師あり学習)について実習を通して学びま す。	2 • 後	60	2			0	0		0		0
49	0			機械学習	機械学習(教師あり学習)の考え方やテクニックについて学びます。	2 • 後	30	2	0			0		0		
50	0			サーバーサイ ドプログラミ ング 1	【AI・システム専攻】Webシステムにおけるサー バーサイドのプログラミングを学びます。	2 • 前	60	2			0	0		0		
51	0			サーバーサイ ドプログラミ ング 2	【AI・システム専攻】Webシステムにおけるサー バーサイドのプログラミングを学びます。	2 • 後	90	3			0	0		0		
52	0			Webアプリ ケーション開 発	【AI・システム/セキュリティ専攻】「Web開発 基礎」で学習したことをベースにWebシステムの 開発を行います。	2 • 前	60	2			0	0		0		
53			0	校外研修3	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2 • 前	30	1			0		0	0		

	(_	工業	専門]課程 ITスペシ	vャリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	į			j	155		授	後業ス		場	所	教	員	>
		選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		校 外			企業等との連携
54			0	校外研修4	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2 · 後	30	1			0		0	0		
55	0			キャリアデザ イン5	就職するにあたっての心構えや、自分に合った 仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄 を学びます。また、エントリーシート、履歴書 の書き方から面接対策を学びます。	3 • 前	60	4	0			0		0		
56	0			キャリアデザ イン6	就職するにあたっての心構えや、自分に合った 仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄 を学びます。また、エントリーシート、履歴書 の書き方から面接対策を学びます。	3 • 後	60	4	0			0		0		
57	0			ビジネススキ ル 1	仕事をする際に必要となる、電話の応対、ビジ ネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立 つビジネスマナーを身につけます。	3 • 前	30	2	0			0			0	
58	0			ビジネススキ ル2	仕事をする際に必要となる、電話の応対、ビジ ネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立 つビジネスマナーを身につけます。	3 • 後	30	2	0			0		0		
59			0	スポーツ実習 3	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めま す。	3 • 後	30	1			0		0	0		
60	0			外国語 2	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	3 • 前	30	2	0			0			0	
61	0			外国語3	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	3 • 後	30	2	0			0			0	
62				経営戦略と マーケティン グ	市場調査における効果的な情報収集の手段や収 集した情報の分析手法を身に付けます。	3 • 後	30	2	0			0			0	
63			0	システムリ サーチ	身の回りにあるコンピュータシステムの仕組み を学び、これからの世の中で必要となるシステ ムについて検討します。	3 • 後	30	2	0			0			0	
64	0			システム設計	システム開発の工程を復習し、設計方法を学び ます。	3 • 前	30	2	0			0			0	
65	0			情報系資格対 策講座 5	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を学びます。	3 • 前	60	4	0			0		0	0	
66	0			情報系資格対 策講座 6	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を学びます。	3 • 後	60	4	0			0		0	0	
67			0	基本情報対策 講座 4	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	3 • 前	45	3	0			0			0	
68				基本情報対策 講座 5	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	3 • 後	45	3	0			0			0	
69			0	資格対策講座 5	各種検定資格の対策を行います。	3 • 前	30	2	0			0			0	
70			0	資格対策講座 6	各種検定資格の対策を行います。	3 • 後	30	2	0			0			0	

	(_	工業	専門]課程 ITスペシ	ノヤリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	Į						授	後業プ	5法	場	所	教	員	
		選択必修	由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		-	専任		企業等との連携
71			0	特別講座 5	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	3 • 前	15	1	0			0			0	
72			0	特別講座6	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	3 • 後	15	1	0			0			0	
73	0			テスト技法	【AI・システム専攻】ソフトウェア開発やシステム運用管理におけるテスト技法について学びます。	3 • 前	30	2	0	0		0			0	0
74	0			プロジェクト マネジメント	プロジェクトマネージャーの業務ノウハウを学 びます。	3 • 前	30	2	0	0		0			0	
75	0			システム開発	提示されたプロジェクト課題をもとに、プロジェクトの立ち上げから実行テストおよびプレゼンテーションまで、システム開発の一連のプロセスをグループワークで実体験します。	3 • 後	120	4			0	0		0		
76			0	システム先端 IT	【AI・システム専攻】業界の動向を見据え、システム開発に必要な技術を補強します。	3 · 後	30	2	0			0		0		
77	0			AIシステム開 発2	【AI・システム専攻】機械学習などのAIシステムについて実習を通して学びます。	3 • 前	60	2			0	0		0		
78	0			モバイルアプ リ開発 1	【AI・システム専攻】モバイルアプリケーションの作成方法を学びます。	3 • 前	90	3			0	0		0		
79	0			モバイルアプ リ開発 2	【AI・システム専攻】モバイルアプリケーションの作成方法を学びます。	3 • 後	60	2			0	0		0		
80			0	インターン シップ 1	一定期間企業などの研修生として働き、自分の 将来に関連のある職業体験を行います。	3 • 後	30	1			0		0	0		
81				インターン シップ 2	一定期間企業などの研修生として働き、自分の 将来に関連のある職業体験を行います。	3 • 後	60	2			0		0	0		
82			0	インターン シップ3	一定期間企業などの研修生として働き、自分の 将来に関連のある職業体験を行います。	3 • 後	120	4			0		0	0		
83			0	校外研修 5	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の 製品や情報に触れます。	3 • 前	30	1			0		0	0		
84			0	校外研修 6	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の 製品や情報に触れます。	3 • 後	30	1			0		0	0		
85	0			キャリアデザ イン 7	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。 また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4 · 前	60	4	0			0		0		
86	0			キャリアデザ イン8	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。 また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4 · 後	60	4	0			0		0		

	(_	工業	専門	引課程 ITスペシ	ノヤリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	į						授	後業ス	方法	場	所	教	員	
		選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実験・実習・実		校外		兼任	企業等との連携
87	0			ファイナン シャルプラン ニング	将来のライフイベントに沿った資金計画や資産 管理について考えます。	4 · 後	30	2	0		技	0		0		
88			0	スポーツ実習 4	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めま す。	4 · 後	30	1			0		0	0		
89	0			外国語 4	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	4 · 前	30	2	0			0			0	
90	0			情報系資格対 策講座 7	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を学びます。	4 • 前	60	4	0			0		0	0	
91	0			情報系資格対 策講座8	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種 検定試験対策を学びます。	4 · 後	60	4	0			0		0	0	
92			0	基本情報対策 講座 6	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	4 • 前	45	3	0			0		0	0	
93			0	基本情報対策 講座 7	基本情報技術者試験の午前試験免除に向けた対 策講座です。	4 · 後	45	3	0			0		0	0	
94			0	資格対策講座 7	各種検定資格の対策を行います。	4 • 前	30	2	0			0			0	
95			0	資格対策講座 8	各種検定資格の対策を行います。	4 · 後	30	2	0			0			0	
96			0	特別講座7	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	4 • 前	15	1	0			0		0		
97			0	特別講座8	講師を招いた特別講義やフォローアップ講座な どを行います。	4 · 後	15	1	0			0		0		
98	0			卒業制作 1	在学中に学習したことを生かしてグループごと にテーマを決め、作品の制作や自由研究を行い ます。	4 • 前	270	9			0	0		0	0	
99	0			卒業制作 2	在学中に学習したことを生かしてグループごと にテーマを決め、作品の制作や自由研究を行い ます。	4 · 後	270	9			0	0		0	0	
100			0	インターン シップ 4	一定期間企業などの研修生として働き、自分の 将来に関連のある職業体験を行います。	4 · 後	30	1			0		0	0		
101			0	インターン シップ 5	一定期間企業などの研修生として働き、自分の 将来に関連のある職業体験を行います。	4 · 後	60	2			0		0	0		
102			0	インターン シップ 6	一定期間企業などの研修生として働き、自分の 将来に関連のある職業体験を行います。	4 · 後	120	4			0		0	0		
103			0	校外研修7	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の 製品や情報に触れます。	4 • 前	30	1			0		0	0		

				課程 ITスペシ	ィャリスト科)(AI・システム専攻)											
		分類	į						授	業プ	5法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
104				校外が1190 8	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の 製品や情報に触れます。	4 · 後	30	1			0		0	0		
			合語	+	104	1	4目		235	(4)	905)	単化	寸 (単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等					
卒業要件:	卒業時に必修科目3270時間取得および選択科目210時間以上、合計3480時間以 上取得すること	1 学年の学期区分	#REF!期				
履修方法:	1年次は必修870時間履修すること 2年次は必修900時間履修すること 3年次は必修660時間、選択科目210時間以上履修すること 4年次は必修840時間履修すること	1 学期の授業期間	#REF! 週				

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

				職業実	践専門課 [:]	程等の基	基本情報について				
学校名		設	置認可年月	日校	長名		144_9655	所在地			
日本工学院専門	学校		和51年7月		英詞	〒 (住所) (電話)	144-8655 東京都大田区西蒲田 03-3732-1111				
設置者名 学校法人片柳	学園		<u>立認可年月</u> 和25年3月		養茂	(住所)	144-8655 東京都大田区西蒲田	<u>所在地</u> 15-23-22			
分野		認定課程名		認定学科名		(電話)	03-6424-1111 門士認定年度	高度専門士認定			専門課程認定年度
工業		工業専門課		ITスペシャリス		,***:		平成20(2008)年			26(2014)年度
学科の目的	つの期待に	こ応えるため	カインターン				で即戦力となる人材を育 体験型授業を通じ、マネ				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		試験 79名6 者 9名(2.2		情報技術者試験 16名 <i>合</i>	合格、応用情	報技術者語	試験 3名合格、ビジネス	能力検定3級 85名合格	Š.		
修業年限	昼夜	全課程の		な総授業時数又は総 立数	講	義	演習	実習	実駒	淚	実技
4 年	昼間	※単位時間、 かに記入	、単位いずれ	3,480 単位時間 単位		単位時間単位	O 単位時間 単位	4,100 単位時間 単位		単位時間単位	O 単位時間 単位
生徒総定員	生徒到	実員(A)	留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)		•		,	
320 人	291			3 人	1	%]				
	■卒業者 ■就職希	数(C) ·望者数(D) :	93 91		<u> </u>	- =				
	■就職者	数 (E)	:	91		À	- -				
	■就職率			43		<u>人</u> %	<u>-</u> -				
	■就職者	に占める地	!元就職者 <i>0</i>)割合 (F/E) 47	_	%					
	■卒業者	に占める就	職者の割合				_				
	■進学者 ■その他			98 1		<u>%</u> 人	<u>-</u> -				
±4.000 for a .15.50	進学者:4										
就職等の状況	サイエン 1名(拓殖	ス専攻入学 大学大学	(a) 院 地方政	イオ・情報メディア研究 治行政研究科 地方行 学 法学部 法律科入学	_了 政専攻入						
		学校HAL列	東京 CG学		- /						
	(令和 ■主な就 (令和6年度	職先、業界		に関する令和7年5月	1 日時点の情	青報)					
			会社、株式	会社アルプス技研、	株式会社II	Jエンジニ	アリング、株式会社ジ	ャステック、PFU、SO	MPOシステ	Fムズ株式	会社
	■民間の)評価機関	等から第三	者評価·			無				
第三者による			下について任								
学校評価		評価団体:			受審年月:			価結果を掲載した ームページURL			
当該学科の ホームページ URL	http://wv	ww.neec.ac	.jp/departn	nent/design/graphic	s/						
	(A:単f	位時間によ	る算定)								
		総授業時数	数						4, 905 i	単位時間	
			うち企業等	ទ と連携した実験・実	習・実技の	授業時数			180 1	単位時間	
				等と連携した演習の授	業時数					単位時間	
			うち必修技		L N/4	A	D++ 0 +5 ** ** **			単位時間	
				うち企業等と連携し						単位時間	
企業等と連携した			(うち企*	うち企業等と連携した 等と連携したインタ						単位時間	
実習等の実施状況	(D. 34)			い。ことにあったイング	22970	-7.又不吋第	~/		720 1	十一元元山間	
(A、Bいずれか に記入)	(日:甲1	総授業時数								半点	
		心汉未可多			習・宝井の世	受業時数				単位 単位	
				事と連携した実験・実 等と連携した演習の授		人不可双				単位	
			うち必修技		-, 3 30					単位	
				うち企業等と連携し	た必修の実際	検・実習・	実技の授業時数			単位	
				うち企業等と連携し						単位	
			(うち企業	と連携したインタ	ーンシップの	の授業時数	t)		j	単位	
		いてその技 該専門課程	旦当する教育	果程を修了した後、学 育等に従事した者であ 艮と当該業務に従事し となる者	って、当	(専修学	- 校設置基準第41条第1項	第1号)	1.	٨.	
		② 学士(の学位を有る	する者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	第2号)	2 .	Λ	
教員の属性(専任		③ 高等	学校教諭等網	経験者		(専修学	校設置基準第41条第1項	第3号)	0 ,	J	
教員について記		④ 修士(の学位又は	専門職学位		(専修学	校設置基準第41条第1項	第4号)	5 ,	λ	
入)		⑤ そのf	也			(専修学	校設置基準第41条第1項	第5号)	0 .	λ	
		計							8 ,	Д	
				実務家教員(分野にお 有する者を想定)の数		ね5年以」	Lの実務の経験を有し、	かつ、	6 ,		
	1										

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の 編成を行っていること。 | 関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施。カリキュラム検討メンバーが、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラム(案)を策定し、分科会で検討を進めてカリキュラムに反映させる。またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木田 徳彦	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 人材委員会副委員長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
藤井 洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
河野 浩	株式会社STVテック 代表取締役社長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
兒島 正広	日本工学院専門学校 ITカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
中西 真也	日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
降矢 理人	日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科 主任	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
			_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 2025年3月22日 ハイブリッド(対面+Web)会議方式

第2回 2025年9月19日を予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員より専門学校の教育ではハードウェア知識中心の学習ではなくて、「IoTを活用していかにビジネスに結びつけていくか」、 「電子デバイス会社とパートナーを結ぶのかベスト」などの目標の位置づけや企業連携についてご意見を頂いた。なお「IoTもの づくり実習」を介して学内コンテストを体験する過程を動機付けとする方法など授業内容をさらに改善し工夫した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指 導などを受けられる企業を選定する。企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標 を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成 績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容や方法に企業の最新技術や課題を取り入れ、実習・演習は企業と連携して実施する。また学修成果は企業担当者の 評価を反映し、実務能力の向上と社会的要請に応える教育を推進している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
IoTものづくり実習	ハードウェアを制御する簡易的なプログラムを作成します	ソニーグループ株式会社
ムトノメテル 園金工	eラーニングでAIの概要についての学習し、AI分析のコンペ に参加します	株式会社SIGNATE
Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目に もなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます	トレランスアクト株式会社
クラウドコンピューティン グ1	クラウドコンピューティングの概要を理解し、クラウド環境でのITの利活用について学びます	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
テスト技法	ソフトウェア開発やシステム運用管理におけるテスト技法に ついて学びます	(一社)IT検証産業協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科 の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することによ り、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 教職員向けAI業務活用セミナー 連携企業等: 日本工学院 生成AI研究会

ITスペシャリスト科教員及び 期間: 2024年7月25日 対象: 全教員

生成AIの教育現場への活用方法について 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: パターンランゲージ活用研修 連携企業等:株式会社クリエイティブシフト

対象:ITスペシャリスト科教員及びITカ レッジ教員 期間: 2025年3月18日

熟練者の実践知を「状況・問題・解決」の構造で言語化し、知識を他者と共有・活用できるようにする手法を学ぶ 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

AWS Academy 講師向けワークショップ 連携企業等: AWS Academy Japan 研修名:

対象: ITスペシャリスト科教員及びITカ レッジ教員 期間: 2025年12月開催を計画

AWSコースの要点や学生に伝えるポイントなどについて触れつつ、教員間での指導方法などでの議論する 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

STEAM教育、職業教育、プログラミング教育 連携企業等:公益財団方針東京都私学財団 研修名:

対象: ITスペシャリスト科教員及び 期間: 2025年12月開催を計画

ITカレッジ教員

内容 STEAM教育、職業教育、プログラミング教育の先進事例を学ぶ 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下 のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	IT企業等委員 /卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報 道局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員/ 卒業生委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進グループセクションチーフ	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ /デザイン企業 等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

《ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

その他(

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

() () () () () () () () () ()	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員•教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設·設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

授業科目等の概要

				課程 ITスペシ			1=	5 ML -	L.L	- 10		1 11				
		分類	ļ			配	授	,,,	授	後業ス	実	場	所	教	頁	企
	必	選	自	1- W-1	let ille et les langues	当年	業	単	講	演		校	校	専	兼	業等
		択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	次・	時	位			実習					との
	修	修	択			学期	数	数	義	習	実	内	外	任	任	連携
					就職するにあたっての心構えや、自分に						技					
1	0			キャリアデザ イン 1	合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に 必要な事柄を学びます。また、エントリー シート、履歴書の書き方から面接対策を学	1	30	2	0			0		0		
					びます。	前										
				キャリアデザ	就職するにあたっての心構えや、自分に 合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に 必要な事柄を学びます。また、エントリー	1										
2	0			イン2	シート、履歴書の書き方から面接対策を学	· 後	30	2	0			0		0		
					びます。	1										
3	0				パソコンを使い、多くの人の前で発表する 技術を身につけます。	1	30	1			0	0		0		
						後										
4			0	スポーツ実習 1	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高 めます。	1	30	1			0		0	0		
				'		後										
5	0				システム戦略や経営戦略、プロジェクトマ ネジメントやサービスマネジメントなど、	1	60	4	0			0		0		
				マネジメント	ストラテジとマネジメントの分野について 学びます。	前	00	_)		
				ITトレンド技	AI,Webシステム、クラウド、セキュリティ	1										
6	0				に関する概要を学びます。	後	30	2	0			0		0		
				コンピュー	コンピュータの基礎理論などテクノロジ分	1										
7	0			タ・テクノロ ジー1	野について学びます。	· 前	60	4	0			0		0		
				コンピュー	システム開発技術などテクノロジ分野につ	1										
8	0			タ・テクノロ ジー2	いて学びます。	· 前	60	4	0			0		0		
				1.0T + 07/F		1										
9	0			IoTもの作り 実習	ハードウェアを制御する簡易的なプログラ ムを作成します。	· 前	30	1			0	0		0	0	0
						1										
10	0			IoT実習1	ネットワーク経由でハードウェアを制御す る簡易的なプログラムを作成します。	後	30	1			0	0		0		
						1										
11	0			ネットワーク 実習	LANやWANなどを中心とした基礎的なネット ワーク技術を学習します。	- 後	60	2			0	0		0		
																H
12	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	1 • 前	30	2	0			0		0		
13	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	1	60	4	0			0		0		
					E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	後										

		C業 分類		課程 ITスペシ	マヤリスト科)(ネットワーククラウド専攻)				T 1=	1 Alle -	L.L			ועב		
	必選自			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習		校	事 任	兼	企業等との連携
14			0	基本情報対策 講座 1	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	1 . 後	45	3	0			0		0	0	
15			0	資格対策講座 1	各種検定資格の対策を行います。	1 · 前	30	2	0			0			0	
16			0	資格対策講座 2	各種検定資格の対策を行います。	1 · 後	30	2	0			0			0	
17			0	特別講座 1	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	1 · 前	15	1	0			0			0	
18			0	特別講座 2	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	1 · 後	15	1	0			0			0	
19	0			Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術 者試験の科目にもなった表計算ソフトなど のアプリケーション操作を学びます。	1 · 前	60	2			0	0			0	0
20	0			Web開発基礎	ブラウザから利用するWebシステムの基礎となる技術を学びます。	1 • 後	60	2			0	0			0	
21	0			アルゴリズム とデータ構造	プログラムを作成する上で重要なアルゴリ ズムを情報処理試験対策も含めて学習しま す。	1 · 前	30	2	0			0		0		
22	0			プログラミン グ実習 1	プログラムの基本構造を学び、実際にプロ グラムを作成します。	1 · 前	60	2			0	0		0		
23	0			プログラミン グ実習 2	「プログラミング実習1」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学びます。	1 · 後	90	3			0	0		0		
24	0			データベース 実習 1	リレーショナル型データベースの構造や管 理機能などデータベースの基礎を学びま す。	1 • 後	60	2			0	0		0		
25			0	校外研修 1	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	1 · 前	30	1			0		0	0		
26			0	校外研修 2	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	1 · 後	30	1			0		0	0		
27	0			キャリアデザ イン3	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	2 • 前	30	2	0			0		0		

				開程 ITスペシ	マヤリスト科)(ネットワーククラウド専攻)			ı	l 15	5 ALC =	_ _	Гъ	=-	+/L		
	必	必	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実習	校		専任	兼	との
28	0			キャリアデザ イン4	就職するにあたっての心構えや、自分に 合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に 必要な事柄を学びます。また、エントリー シート、履歴書の書き方から面接対策を学 びます。	2 • 後	30	2	0			0		0		
29	0			ロジカルシン キング	 論理的思考方法を学び、ライティングスキルなどを身につけます。	2 · 後	30	2	0			0		0		
30			0	スポーツ実習 2	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高 めます。	2 • 後	30	1			0		0	0		
31	0			外国語 1	英会話やIT分野の技術英語などを学びま す。	2 • 前	30	2	0			0			0	
32	0			情報セキュリ ティ	企業の業務システムやコンピュータシステムを安全に利用するために求められる情報 セキュリティについて学習します。	2 • 前	30	2	0			0		0		
33	0				実際の業務でも使用されるクラウドサービスなど、最先端のITサービスを体験します。	2 • 後	60	2			0	0		0	0	0
34	0			IoT実習2	各種センサーを利用したプログラムの企画 から開発、テストまでを行います。	2 • 前	30	1			0	0		0		
35			0	WindowsServe r実習	WindowsServerの役割と機能について学びます。	2 · 後	30	1			0	0			0	
36	0			情報系資格対 策講座3	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	2 • 前	60	4	0			0		0		
37	0			情報系資格対 策講座4	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	2 · 後	60	4	0			0		0	0	
38			0	基本情報対策 講座2	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	2 • 前	45	3	0			0		0	0	
39			0	基本情報対策 講座3	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	2 • 後	45	3	0			0		0	0	
40			0	資格対策講座 3	各種検定資格の対策を行います。	2 • 前	30	2	0			0		0	0	
41			0	資格対策講座 4	各種検定資格の対策を行います。	2 • 後	30	2	0			0			0	

	(工業専門課程 ITスペシャリスト科) (ネットワーククラウド専攻) 分類										 方法	場	所	教	日	
	必	選択	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実験	校	校	専		企業等との連携
42			0		講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	2 • 前	15	1	0			0			0	
43			0	特別講座 4	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	2 • 後	15	1	0			0			0	
44	0				LinuxOSのインストールや環境設定を行い、 Linuxコマンドなどを使った基本操作を学び ます。	2 • 前	60	2			0	0			0	
45	0				LinuxOSを使用してインターネットで利用される様々なサーバを構築します。	2 • 後	60	2			0	0			0	
46	0				リレーショナル型データベースの構築から 操作までを実習を通じて学びます。	2 • 前	30	1			0	0			0	
47	0				【AI・システム/セキュリティ専攻】「Web 開発基礎」で学習したことをベースにWebシ ステムの開発を行います。	2 • 前	60	2			0	0		0		
48	0			シスコ認定技 術 1	【ネットワーク・クラウド/セキュリティ専攻】シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	2 • 前	120	4			0	0		0		
49	0				【ネットワーク・クラウド/セキュリティ専攻】シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	2 · 後	120	4			0	0		0		
50			0	校外研修3	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2 • 前	30	1			0	0		0		
51			0	校外研修 4	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2 · 後	30	1			0	0		0		
52	0				就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3 • 前	60	4	0			0		0		
53	0			キャリアデザ イン6	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3 · 後	60	4	0				0	0		
54	0				仕事をする際に必要となる、電話の応対、 ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会 人に役立つビジネスマナーを身につけま す。	3 • 前	30	2	0				0	0		

	(工業専門課程 Tスペシャリスト科) (ネットワーククラウド専事) 分類								12	受業ス	- :±	場所		쏴	吕	
		選	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習	校	校外		兼	企業等との連携
55	0			ビジネススキ ル2	仕事をする際に必要となる、電話の応対、 ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会 人に役立つビジネスマナーを身につけま す。	3 • 後	30	2	0			0		0		
56			0		さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	3 • 後	30	1			0	0		0		
57	0			外国語 2	英会話やIT分野の技術英語などを学びま す。	3 • 前	30	2	0			0			0	
58	0			外国語 3	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	3 · 後	30	2	0			0		0		
59				経営戦略と マーケティン グ	市場調査における効果的な情報収集の手段 や収集した情報の分析手法を身に付けま す。	3 · 後	30	2	0				0	0		
60			0	システムリ サーチ	身の回りにあるコンピュータシステムの仕 組みを学び、これからの世の中で必要とな るシステムについて検討します。	3 · 後	30	2	0			0			0	
61	0			Linux実習3	【ネットワーク・クラウド専攻】Linux環境における、仮想化やコンテナ、システムアーキテクチャについて学びます。	3 · 前	60	2			0	0			0	
62	0			情報系資格対 策講座 5	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	3 • 前	60	4	0			0			0	
63	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	3 · 後	60	4	0			0			0	
64			0	基本情報対策 講座 4	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	3 • 前	45	3	0			0			0	
65			0	基本情報対策 講座 5	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	3 • 後	45	3	0			0		0	0	
66			0	資格対策講座 5	各種検定資格の対策を行います。	3 • 前	30	2	0			0		0	0	
67			0	資格対策講座 6	各種検定資格の対策を行います。	3 • 後	30	2	0			0			0	
68			0	特別講座 5	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	3 • 前	15	1	0			0			0	
69			0	特別講座 6	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	3 · 後	15	1	0			0			0	

	(工業専門課程 ITスペシャリスト科) (ネットワーククラウド専攻) 分類									∵ ** =	- >+	18	FC.	± <i>l</i> -	므	
		選	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	選業 演習	実験		校			企業等との連携
70	0			プロジェクト マネジメント	プロジェクトマネージャーの業務ノウハウ を学びます。	3 · 前	30	2	0			0			0	
71			0	方式設計	【ネットワーク・クラウド専攻】システム の信頼性を高めるための方式設計について 学びます。	3 · 前	30	2	0			0			0	
72			0	シスコ認定技 術 3	【ネットワーク・クラウド/セキュリティ専攻】シスコシステムズのWeb教材を使用し、 通信プロトコルやネットワーク機器の設定 方法について学習します。	3 · 前	90	3			0	0			0	
73			0		【ネットワーク・クラウド専攻】代表的な クラウドサービスについて資格対策も踏ま えながら実習を通して学習をします。	3 • 前	60	2			0	0			0	0
74			0		【ネットワーク・クラウド専攻】代表的な クラウドサービスについて資格対策も踏ま えながら実習を通して学習をします。	3 · 後	60	2			0	0			0	
75			0	インフラ構築 グループ演習	【ネットワーク・クラウド専攻】プロジェクトの立ち上げから設計・構築、テストおよびプレゼンテーションまでの一連のプロセスをグループワークで実施します。	3 · 後	120	4			0	0		0		
76			0	ネットワー ク・クラウド 先端 IT	業界の動向を見据え、システム開発に必要 な技術を補強します。	3 · 後	30	2	0			0		0		
77			0	インターン シップ 1	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	3 · 後	30	1			0	0		0		
78			0	インターン シップ2	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	3 · 後	60	2			0	0		0		
79			0	インターン シップ3	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	3 • 後	120	4			0	0		0		
80			0		IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	3 • 前	30	1			0		0	0		
81			0		IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	3 · 後	30	1			0		0	0		
82	0				集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4 · 前	60	4	0				0	0		
83	0				集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4.後	60	4	0				0	0		

	(工業専門課程 ITスペシャリスト科) (ネットワーククラウド専攻) 分類								捋	後業ス	方法	場	所	教	昌	
	必	選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実験	校	校外	専	兼	企業等との連携
84	0			ファイナン シャルプラン ニング	将来のライフイベントに沿った資金計画や 資産管理について考えます。	4 · 後	30	2	0				0	0		
85			0	スポーツ実習 4	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	4 · 後	30	1			0	0		0		
86	0			外国語 4	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	4 • 前	30	2	0			0		0		
87	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	4 · 前	60	4	0			0		0		
88	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	4 · 後	60	4	0				0	0		
89			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	4 · 前	45	3	0			0			0	
90			0	基本情報対策 講座 7	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	4 · 後	45	3	0			0		0	0	
91			0	資格対策講座 7	各種検定資格の対策を行います。	4 · 前	30	2	0			0		0	0	
92			0	資格対策講座 8	各種検定資格の対策を行います。	4 · 後	30	2	0			0		0	0	
93			0	特別講座 7	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	4 • 前	15	1	0			0		0	0	
94			0		講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	4 · 後	15	1	0			0			0	
95	0			卒業制作 1	在学中に学習したことを生かしてグループ ごとにテーマを決め、作品の制作や自由研 究を行います。	4 • 前	270	9			0	0		0	0	
96	0			卒業制作 2	在学中に学習したことを生かしてグループ ごとにテーマを決め、作品の制作や自由研 究を行います。	4 · 後	270	9			0	0		0	0	
97			0	インターン シップ 4	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	4 · 後	30	1			0		0	0		
98			0	インターン シップ 5	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	4 · 後	60	2			0		0	0	0	

		C業 分類]課程 ITスペシ	vャリスト科)(ネットワーククラウド専攻) 				捋	業業プ	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専	兼任	企業等との連携
99			0	インターン シップ6	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	4.後	120	4			0		0	0	0	
100			0	校外研修7	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	4 · 前	30	1			0		0	0		
101				牧外町1 16 8	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	4 · 後	30	1			0		0	0		
			合計	f	101	Ŧ	4目		231	(4	905)	単位	立(単位	問制	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	卒業時に必修科目3240時間取得および選択科目210時間以上、合計3450時 間以上取得すること	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	1年次は必修870時間履修すること 2年次は必修840時間履修すること 3年次は必修690時間、選択科目210時間以上履修すること 4年次は必修840時間履修すること	1 学期の授業期間	15 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	80 +	長名		所在地			
日本工学院専門	明学 坛	昭和51年7月		英詞 (住所)	144-8655 東京都大田区西蒲田				
設置者名		設立認可年		央詞 (任所) (電話) 者名	東京都入田区四浦田 03-3732-1111	15-23-22 			
学校法人片柳		昭和25年3月		で ・ 一	144-8655 東京都大田区西蒲田				
分野		認定課程名	認定学科名	(電話)	03-6424-1111 門士認定年度	高度専門士認定	年度 1	職業実践重	門課程認定年度
工業		業専門課程	ITスペシャリス		-	平成20(2008)年			6(2014)年度
学科の目的	つの期待に		ノシップやPBL(Project I		で即戦力となる人材を育 体験型授業を通じ、マネ				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		試験 79名合格、基本 者 9名(2.2%)	情報技術者試験 16名台	合格、応用情報技術者	試験 3名合格、ビジネス	能力検定3級 85名合格	i		
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は総 位数	講義	演習	実習	実験	<u></u>	実技
4	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	3,480 単位時間	2,670 単位時間 単位	0 単位時間	4,100 単位時間 単位		単位時間 単位	0 単位時間
		 	単位 E数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	単位	単位	- 早	리보	- 単位
320 人	291		3 人	1 %					
320 X	■卒業者	数 (C) :	93	<u> </u>	<u></u>				
		望者数 (D) :		Ž.	=				
	■就職者	<u> </u>	91 43	`	=				
	■就職率	(E/D)	99	%	- -				
	■就職者	に占める地元就職者	の割合 (F/E) 47	%					
	■卒業者	こ占める就職者の割合	È (E/C)		=				
	■進学者	数	98 1	<u>%</u> 人	=				
	■延子旬		1		=				
+h100/07 0.11 \C									
就職等の状況									
	6								
	ľ								
	(令和	6 年度卒業	老に関する今和7年5月						
			日に関する中和1十日万	1 日時点の情報)					
	■主な就	職先、業界等	日に関するも和7年3万	1日時点の情報)					
	(令和6年度	卒業生)			マルング 性子今分ご	ゎフテック PEU SO	MDOS.77	・ルブサギィ	≻ /
	(令和6年度	卒業生)			アリング、株式会社ジ	ャステック、PFU、SO	MPOシステ	・ムズ株式会	 社
	(令和6年度 コナミグル ■ 民間の	至年生) レープ株式会社、株 評価機関等から第3	式会社アルプス技研、		·アリング、株式会社ジ 無	ャステック、PFU、SO	MPOシステ	・ムズ株式会	∻ 社
第三者による	(令和6年度 コナミグル ■ 民間の	を業生) レープ株式会社、株ま	式会社アルプス技研、			ャステック、PFU、SO	MPOシステ	・ムズ株式会	会社
第三者による 学校評価	(令和6年度 コナミグル ■ 民間の ※有の場合	至年生) レープ株式会社、株 評価機関等から第3	式会社アルプス技研、		無	価結果を掲載した	MPOシステ	・ムズ株式会	注 社
学校評価	(令和6年度 コナミグル ■ 民間の ※有の場合	卒業生) レープ株式会社、株 評価機関等から第3、例えば以下について	式会社アルプス技研、	株式会社IIJエンジニ	無		MPOシステ	・ムズ株式会	会社
	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	卒業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体:	式会社アルプス技研、	株式会社IIJエンジニ 受審年月:	無	価結果を掲載した	MPOシステ:	・ムズ株式会	会社
学校評価 当該学科の	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	卒業生) レーブ株式会社、株 評価機関等から第: 、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart	式会社アルプス技研、 三者評価: ^{王意記載}	株式会社IIJエンジニ 受審年月:	無	価結果を掲載した	MPOシステ	・ムズ株式会	会社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	卒業生) レーブ株式会社、株 評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart	式会社アルプス技研、 三者評価: ^{王意記載}	株式会社IIJエンジニ 受審年月:	無	価結果を掲載した	MPOシステ	・ムズ株式会	会社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	卒業生) レーブ株式会社、株 評価機関等から第: 、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart	式会社アルプス技研、 三者評価: ^{王意記載}	株式会社IIJエンジニ 受審年月:	無	価結果を掲載した	MPOシステ 4, 905 単		会社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	卒業生) レープ株式会社、株 評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数	式会社アルプス技研、 三者評価: ^{王意記載}	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/	無	価結果を掲載した	4, 905 単		社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	卒業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	式会社アルプス技研、 三者評価 : ^{王意記載} ment/design/graphic	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数	無	価結果を掲載した	4, 905 単 180 単	单位時間	社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	平業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	式会社アルプス技研、 三者評価: ^{王意記載} ment/design/graphic 等と連携した実験・実	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数	無	価結果を掲載した	4, 905 単 180 単	单位時間 単位時間	≩ 社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	平業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	式会社アルプス技研、 三者評価: 田恵記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数	無 評 / 水-	価結果を掲載した	4, 905 単 180 単 0 単 3, 330 単	单位時間 単位時間	≩ 社
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合	平業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	式会社アルプス技研、 三者評価: 日意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数	無 評/ ホ・ 実技の授業時数	価結果を掲載した	4, 905 単 180 単 0 単 3, 330 単 180 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	≩ 社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	平業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	式会社アルプス技研、 三者評価: 日意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 0 単 3,330 単 180 単	進位時間 単位時間 単位時間 単位時間	会社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	平業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第三、例えば以下について(評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	式会社アルプス技研、 三者評価: 田恵記載 Ement/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 0 単 3,330 単 180 単	進位時間 間 単位時時間 単位時時間 単位時時間	会社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	本業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第: 、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 立数による算定)	式会社アルプス技研、 三者評価: 田恵記載 Ement/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4, 905 単 180 単 3, 330 単 180 単 420 単	单位時間 単位時間 単位時間間 単位時間間 単位時間間	会社
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第三、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 立数による算定)	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時 ーンシップの授業時	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4, 905 単 180 単 3, 330 単 180 単 420 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間	会社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	平業生) レープ株式会社、株: 評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 対数による算定)	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し ま等と連携したインタ	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時 ーンシップの授業時数 習・実技の授業時数	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し: まち企業等と連携しまする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。 まずきと連携したする。	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時 ーンシップの授業時数 習・実技の授業時数	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単	单位時間 単位時間 単位時時間 単位時時間 単位 単位 単位 単位	社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し ま等と連携したインタ	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時 ーンシップの授業時数 習・実技の授業時数	無 評/ 水・ 実技の授業時数 f数	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	<u>≩</u>
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 田恵田村/design/graphic 無いました実験・実 等と連携した実験・実 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携したインタ 等と連携した実験・実 等と連携した実験・実 等と連携した実験・実	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時 ーンシップの授業時数 習・実技の授業時数	無評が、	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単 単	单位時間 単位時間 単位時時間 単位時時間 単位 単位 単位 単位	è社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 田田 H E E E E E E E E E E E E E E E E E E	株式会社IIJエンジニ 受審年月: s/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 でシップの授業時数 で変技の授業時数	無 実技の授業時数 数 女)	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単 単 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位 単位位 単位位	≩ 社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 田田 H E E E E E E E E E E E E E E E E E E	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 家/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 業時数 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の実験・実習・	無 実技の授業時数 数 女)	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単 単 単 単	单位 時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位 中位時間間 単位 中 单位 中 時間間 単位 中 章 单位 中 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	≩ 社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww	卒業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し きと連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 家/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 業時数 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の実験・実習・	無 実技の授業時数 数 女)	価結果を掲載した	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単 単 単 単	单位 時間間 単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位 中位時間間 単位 中位 中 時間間 単位 中 時間 目 地 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	è社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww		式会社アルプス技研、 三者評価: 田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 家/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 業時数 かからの演習の授業時数 また必修の実験・実習・ た必修の実験で表達時数	無 実技の授業時数 数 女)	価結果を掲載した ームページURL	4,905 単 180 単 3,330 単 180 単 420 単 単 単 単	单位 時間間 單位 单位 电位 单位 电位	≩ 社
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(令和6年度 コナミグル ■民間の ※有の場合 http://ww		式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携したインタ 等と連携した演習の授授業等と連携しままで、まずをは、実際の受け、まずをと連携した演習の授授業時数 「うち企業等と連携した演習の授授業時数 「うち企業等と連携した演習の授授業時数 「うち企業等と連携した演習の授授業時数 「うち企業等と連携した演習の授授業時数 「うち企業等と連携した者等と連携しまる企業等と連携した者等と連携した者等とと連携した者等とと述る者	株式会社IIJエンジニ 受審年月: S/ 習・実技の授業時数 業時数 た必修の演習の授業時数 でかり、プロ授業時数 では、一ンシップの授業時数 業時数 た必修の演習の授業時数 を必修の演習の授業時数 を必修の演習の授業時数 を必修の演習の授業時数 を必修の演習の授業時数	無 字技の授業時数 多数 女) 実技の授業時数 数数 女)		4,905 単 180 単 3,330 単 0 単 420 単 単 単 単 単 単 単	单位 位位 经 位位	àt
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位	平業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授素時数企業等と連携したうち企業等と連携したうち企業等と連携したうち企業等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携した演習の授授業時数	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 図・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 業時数 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	無 実技の授業時数 数数 枚) 実技の授業時数 数数 枚)	m結果を掲載した ームページURL 第1号)	4, 905 単 180 単 3, 330 単 420 単 420 単 42 単 4 4 1 人 2 人		àt
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状か に記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位	平業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した 素等と連携した大変験・実 等と連携した大変験の授 要等と連携した実験での授 要等と連携した実験である企業等と連携した 業等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 実等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 要等と連携した 大変を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 図・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 業時数 では、実技の授業時数 業時数 た必修の実験で実習・ 大心必修の演習の授業時数 業時数 た必修の演習の授業時数 た必修の演習の授業時数 ため修の演習の授業時数 ため修の演習の授業時数 ため修の演習の授業時数	無 実技の授業時数 数数 效) 実技の授業時数 数 数 文)	m結果を掲載した ームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	4,905 単 180 単 3,330 単 420 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単		àt ·
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位	平業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した 素等と連携した大変験・実 等と連携した大変験の授 要等と連携した実験での授 要等と連携した実験である企業等と連携した 業等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 実等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 要等と連携した 大変を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 図・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習・ た必修の演習の授業時数 業時数 では、実技の授業時数 業時数 た必修の実験で実習・ 大心必修の演習の授業時数 業時数 た必修の演習の授業時数 た必修の演習の授業時数 ため修の演習の授業時数 ため修の演習の授業時数 ため修の演習の授業時数	無 実技の授業時数 数数 枚) 実技の授業時数 数数 枚)	m結果を掲載した ームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	4, 905 単 180 単 3, 330 単 420 単 420 単 42 単 4 4		≩±t
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携を実施状かに記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位	平業生	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した 素等と連携した大変験・実 等と連携した大変験の授 要等と連携した実験での授 要等と連携した実験である企業等と連携した 業等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 実等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 要等と連携した 大変を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 図・実技の授業時数 業時数 た必修のの実験・実習・ た必修のの演習の授業時数 でのでは、またのでは	無 実技の授業時数 数数 效) 実技の授業時数 数 数 文)	m結果を掲載した ームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	4,905 単 180 単 3,330 単 420 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単		≩±t
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携を実施状かに記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位	平業生) ン一プ株式会社、株: 評価機関等から第三、例えば以下について(評価団体: がいneec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを必修	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した 素等と連携した大変験・実 等と連携した大変験の授 要等と連携した実験での授 要等と連携した実験である企業等と連携した 業等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 実等と連携したた演習の授 授業時数 ラち企業等と連携した 要等と連携した 大変を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 図・実技の授業時数 業時数 た必修のの実験・実習・ た必修のの演習の授業時数 でのでは、またのでは	無 実技の授業時数 数 枚) 実技の授業時数 数 枚) 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	m結果を掲載した ームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	4,905 単 180 単 3,330 単 420 単 単 単 単 単 単 単 単 単 4 0 0 1 1 1 1 1 4 2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	单位 经单位 单位 单	≩±t
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携を実施状か に記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位	平業生) ン一プ株式会社、株: 評価機関等から第三、例えば以下について 評価団体: が、neec.ac.jp/depart 立時間による算定) 総授業時数 うちな企業 うちも必修 (うち企 総授業時数 うちな企業 うちも必修 (うちを) (うちを企業 うちも必修 (うちを) (うち	式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等とを修従事等と 建程をに従事等と にでいる者等 とする者等 とする者等	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 図・実技の授業時数 業時数 た必修の実験・実習で た必修の演習の授業時数 業時数 でというプロ授業時数 業時数 た必修の実験・実習で 大心必修の演習の授業時数 業時数 た必修の演習の授業時数 では当と (専修生 (専修生	無 実技の授業時数 数数 対) 実技の授業時数 数数 対) 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	m結果を掲載した ームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	4,905 単 180 単 3,330 単 420 単 単 単 単 単 単 1 人 2 人 0 人 0 人	单位 经单位 单位 单	àt de la companya de
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携を実施状か に記入)	(令和6年度 コナミグル ■民間の場合 http://ww (A:単位		式会社アルプス技研、 三者評価: 王意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変調子と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等と連携した 大変音等とを修従事等と 建程をに従事等と にでいる者等 とする者等 とする者等	株式会社IIJエンジニ 受審年月: 宮・実技の授業時数 素時数 た必修の演習の授業時数 では、実技の授業時数 では、実技の授業時数 では、実技の授業時数 では、実技の授業時数 では、実技の授業時数 では、実技の授業時数 では、また必修の演習の授業時数 では、事修等 では、事修等 では、事修等 では、事修等	無 実技の授業時数 数 枚) 実技の授業時数 数 枚) 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	m結果を掲載した ームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	4,905 単 180 単 3,330 単 420 単 単 単 単 単 単 1 人 2 人 0 人 0 人	单位 经单位 单位 单	àt de la companya de

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施。カリキュラム検討メンバーが、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュ
- ラム(案)を策定し、分科会で検討を進めてカリキュラムに反映させる。またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- 教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び 企
- 業関係者から3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および
- 演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木田 徳彦	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 人材委員会副委員長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
藤井 洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
河野 浩	株式会社STVテック 代表取締役社長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
兒島 正広	日本工学院専門学校 ITカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	-
中西 真也	日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	-
降矢 理人	日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科 主任	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 2025年3月22日 ハイブリッド(対面+Web)会議方式

第2回 2025年9月19日を予定

Λ.

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員より専門学校の教育ではハードウェア知識中心の学習ではなくて、「IoTを活用していかにビジネスに結びつけていくか」、 「電子デバイス会社とパートナーを結ぶのかベスト」などの目標の位置づけや企業連携についてご意見を頂いた。なお「IoTもの づくり実習」を介して学内コンテストを体験する過程を動機付けとする方法など授業内容をさらに改善し工夫した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容や方法に企業の最新技術や課題を取り入れ、実習・演習は企業と連携して実施する。また学修成果は企業担当者の 評価を反映し、実務能力の向上と社会的要請に応える教育を推進している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

	科目名	科 目 概 要	連携企業等
IoT	「ものづくり実習	ハードウェアを制御する簡易的なプログラムを作成します	ソニーグループ株式会社
AI ⁻	ン人ナム開発し	eラーニングでAIの概要についての学習し、AI分析のコンペ に参加します	株式会社SIGNATE
		コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目に もなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます	トレランスアクト株式会社
クラウ		クラウドコンピューティングの概要を理解し、クラウド環境でのITの利活用について学びます	マゾンウェブサービスジャパン合同会
	テスト技法	ソフトウェア開発やシステム運用管理におけるテスト技法に ついて学びます	(一社)IT検証産業協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学 科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することに より、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名 : 教職員向けAI業務活用セミナー 連携企業等 : 日本工学院 生成AI研究会

期間: 2024年7月25日 対象: TTスペシャリスト科教員及び

±4

内容 生成AIの教育現場への活用方法について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: パターンランゲージ活用研修 連携企業等: 株式会社クリエイティブシフト

期間: 2025年3月18日 対象: ITスペシャリスト科教員及びITカ

内容 熟練者の実践知を「状況・問題・解決」の構造で言語化し、知識を他者と共有・活用できるようにする手法を学

ぶ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: AWS Academy 講師向けワークショップ 連携企業等: AWS Academy Japan

期間: 2025年12月開催を計画 対象: ITスペシャリスト科教員及びITカ

内容 AWSコースの要点や学生に伝えるポイントなどについて触れつつ、教員間での指導方法などでの議論する

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: STEAM教育、職業教育、プログラミング教育 連携企業等: 公益財団方針東京都私学財団

期間: 2025年12月開催を計画 対象: ITスペシャリスト科教員及び 対象: ITカレッジ教員

内容 STEAM教育、職業教育、プログラミング教育の先進事例を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。ま た、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者によ る評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係 団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生か して、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指 導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参

考とする。 (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献·地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下 のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の 場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対 して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社	令和7年4月1日	IT企業等委員
	最高顧問	~令和8年3月31日(1年)	/卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス	令和7年4月1日	地域関連/
	専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報 道局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員/ 卒業生委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進グループセクションチーフ	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ /デザイン企業 等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会	令和7年4月1日	テクノロジー
	事務局長	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	令和7年4月1日	ミュージック
	常務理事	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

√ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

https://www.neec.ac.jp/public/

URL: 公表時期: 令和7年9月30日 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関 する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うこ とにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱え る課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部に おいて取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員·教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.neec.ac.jp/public/ 令和7年9月30日 URL:

公表時期:

授業科目等の概要

	(工業専門課程 ITスペシャリスト科) (セキュリティ専攻) 分類 授業方法 場所 教員															
	必	選択必	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演		校	校	専	<u>貝</u> 兼	との
1	0			キャリアデザ イン 1	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
2	0				就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	1 • 後	30	2	0			0		0		
3	0				パソコンを使い、多くの人の前で発表する 技術を身につけます。	1 • 後	30	1			0	0		0		
4			0		さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	1 • 後	30	1			0		0	0		
5	0				システム戦略や経営戦略、プロジェクトマ ネジメントやサービスマネジメントなど、 ストラテジとマネジメントの分野について 学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
6	0				AI,Webシステム、クラウド、セキュリティ に関する概要を学びます。	1 • 後	30	2	0			0		0		
7	0			コンピュー タ・テクノロ ジー 1	コンピュータの基礎理論などテクノロジ分 野について学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
8	0			コンピュー タ・テクノロ ジー2	システム開発技術などテクノロジ分野につ いて学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
9	0				ハードウェアを制御する簡易的なプログラ ムを作成します。	1 • 前	30	1			0	0		0	0	0
10	0			IoT実習 1	ネットワーク経由でハードウェアを制御す る簡易的なプログラムを作成します。	1 • 後	30	1			0	0		0		
11	0			ネットワーク 実習	LANやWANなどを中心とした基礎的なネット ワーク技術を学習します。	1 · 後	60	2			0	0		0		
12	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	1 • 前	30	2	0			0		0		
13	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	1 • 後	60	4	0			0		0		

				課程 ITスペシ	・ヤリスト科)(セキュリティ専攻)	1			1 15	5 ALC =	L \	ГЪ	=r	f 教員			
		分 選択必修		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習		校		専任	兼	との	
14			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	1 · 後	45	3	0			0		0	0		
15			0	資格対策講座 1	各種検定資格の対策を行います。	1 • 前	30	2	0			0			0		
16			0	資格対策講座 2	各種検定資格の対策を行います。	1 · 後	30	2	0			0			0		
17			0	特別講座 1	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	1 • 前	15	1	0			0			0		
18			0	特別講座 2	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	1 • 後	15	1	0			0			0		
19	0			Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術 者試験の科目にもなった表計算ソフトなど のアプリケーション操作を学びます。	1 • 前	60	2			0	0			0	0	
20	0			Web開発基礎	ブラウザから利用するWebシステムの基礎となる技術を学びます。	1 • 後	60	2			0	0			0		
21	0			アルゴリズム とデータ構造	プログラムを作成する上で重要なアルゴリ ズムを情報処理試験対策も含めて学習しま す。	1 • 前	30	2	0			0		0			
22	0			プログラミン グ実習 1	プログラムの基本構造を学び、実際にプロ グラムを作成します。	1 • 前	60	2			0	0		0			
23	0			プログラミン グ実習 2	「プログラミング実習1」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学びます。	1 • 後	90	3			0	0		0			
24	0			データベース 実習 1	リレーショナル型データベースの構造や管 理機能などデータベースの基礎を学びま す。	1 • 後	60	2			0	0		0			
25			0	校外研修 1	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	1 • 前	30	1			0		0	0			
26			0	校外研修2	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1 · 後	30	1			0		0	0			
27	0			キャリアデザ イン3	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	2 • 前	30	2	0			0		0			

		L業 分類		課程 ITスペシ	/ヤリスト科)(セキュリティ専攻)				1 42	後業プ	- :+	18	所	#4-		
		選択必	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校	校	事 任	兼	企業等との連携
28	0			キャリアデザ イン4	就職するにあたっての心構えや、自分に 合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に 必要な事柄を学びます。また、エントリー シート、履歴書の書き方から面接対策を学 びます。	2 • 後	30	2	0			0		0		
29	0				論理的思考方法を学び、ライティングスキルなどを身につけます。	2 · 後	30	2	0			0		0		
30			0	スポーツ実習 2	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	2 • 後	30	1			0		0	0		
31	0			外国語 1	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	2 • 前	30	2	0			0			0	
32	0			情報セキュリ ティ	企業の業務システムやコンピュータシステムを安全に利用するために求められる情報 セキュリティについて学習します。	2 • 前	30	2	0			0		0		
33	0				実際の業務でも使用されるクラウドサービスなど、最先端のITサービスを体験します。	2 • 後	60	2			0	0		0	0	0
34	0			IoT実習2	各種センサーを利用したプログラムの企画 から開発、テストまでを行います。	2 • 前	30	1			0	0		0		
35	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	2 • 前	60	4	0			0			0	
36	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を行います。	2 • 後	60	4	0			0		0		
37			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	2 • 前	45	3	0			0		0	0	
38			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	2 · 後	45	3	0			0		0	0	
39			0	資格対策講座 3	各種検定資格の対策を行います。	2 • 前	30	2	0			0		0	0	
40			0	資格対策講座 4	各種検定資格の対策を行います。	2 • 後	30	2	0			0		0	0	
41			0	特別講座3	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	2 • 前	15	1	0			0			0	

				課程 ITスペシ	ィャリスト科)(セキュリティ専攻)				I 1-	* alle _				斤 ┃ 教員		
		分 選択必修		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		選 習	実験・実習・実技	校		専任	兼	企業等との連携
42			0	特別講座 4	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	2 • 後	15	1	0			0			0	
43	0			Linux実習 1	LinuxOSのインストールや環境設定を行い、 Linuxコマンドなどを使った基本操作を学び ます。	2 • 前	60	2			0	0			0	
44	0			Linux実習2	LinuxOSを使用してインターネットで利用される様々なサーバを構築します。	2 · 後	60	2			0	0			0	
45	0				リレーショナル型データベースの構築から 操作までを実習を通じて学びます。	2 • 前	30	1			0	0			0	
46	0			Webアプリ ケーション開 発	【AI・システム/セキュリティ専攻】「Web 開発基礎」で学習したことをベースにWebシ ステムの開発を行います。	2 • 前	60	2			0	0			0	
47			0	WindowsServe r実習	WindowsServerの役割と機能について学びます。	2 · 後	60	2			0	0		0		
48	0			シスコ認定技 術 1	【ネットワーク・クラウド/セキュリティ専攻】シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	2 • 前	120	4			0	0		0		
49	0			シスコ認定技 術 2	【ネットワーク・クラウド/セキュリティ専攻】シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信プロトコルやネットワーク機器の設定方法について学習します。	2 • 後	120	4			0	0		0		
50			0	校外研修3	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2 • 前	30	1			0	0		0		
51			0	校外研修4	AIやIoT、VRなど、ICTの先端技術を目の当たりにする展示会や講習会に参加して、最新の製品や情報に触れます。	2 • 後	30	1			0	0		0		
52	0			キャリアデザ イン5	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3 • 前	60	4	0			0		0		
53	0			キャリアデザ イン6	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に必要な事柄を学びます。また、エントリーシート、履歴書の書き方から面接対策を学びます。	3 · 後	60	4	0				0	0		
54	0			ビジネススキ ル 1	仕事をする際に必要となる、電話の応対、 ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会 人に役立つビジネスマナーを身につけま す。	3 • 前	30	2	0				0	0		

		C業 分類		課程 ITスペシ	マヤリスト科)(セキュリティ専攻)				授業方法			場	EC.	± <i>L</i> -	므	
	必	選	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演 習	実験・実習	校	<u>於</u> 校		兼	企業等との連携
55	0				仕事をする際に必要となる、電話の応対、 ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会 人に役立つビジネスマナーを身につけま す。	3 • 後	30	2	0			0		0		
56			0		さまざまなスポーツを体験し、人間力を高 めます。	3 • 後	30	1			0	0		0		
57	0			外国語 2	英会話やIT分野の技術英語などを学びま す。	3 • 前	30	2	0			0			0	
58	0			外国語 3	英会話やIT分野の技術英語などを学びま す。	3 • 後	30	2	0			0		0		
59			0		市場調査における効果的な情報収集の手段 や収集した情報の分析手法を身に付けま す。	3 • 後	30	2	0				0	0		
60			0	システムリ サーチ	身の回りにあるコンピュータシステムの仕 組みを学び、これからの世の中で必要とな るシステムについて検討します。	3 • 後	30	2	0			0			0	
61	0			Linux実習3	【ネットワーク・クラウド専攻】Linux環境 における、仮想化やコンテナ、システム アーキテクチャについて学びます。	3 · 前	60	2			0	0			0	
62	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	3 • 前	60	4				0			0	
63	0				情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	3 • 後	60	4	0			0			0	
64			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	3 • 前	45	3	0			0			0	
65			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	3 • 後	45	3	0			0		0	0	
66			0	資格対策講座 5	各種検定資格の対策を行います。	3 • 前	30	2	0			0		0	0	
67			0	資格対策講座 6	各種検定資格の対策を行います。	3 • 後	30	2	0			0			0	
68			0	特別講座 5	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	3 • 前	15	1	0			0			0	
69			0	特別講座 6	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	3 • 後	15	1	0			0			0	

				課程 ITスペシ	ィャリスト科)(セキュリティ専攻)				1.2	t) Alt =		18	=r	┃ 教員		
		分 選択必修	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	選 習	実験・実習	場 校 内	校	専	兼	との
70	0			プロジェクト マネジメント	プロジェクトマネージャーの業務ノウハウ を学びます。	3 • 前	30	2	0	0	12	0			0	
71			0	ネットワー ク・クラウド 先端IT	業界の動向を見据え、システム開発に必要 な技術を補強します。	3 • 後	30	2	0			0			0	
72	0			方式設計	システムの信頼性を高めるための方式設計 について学びます。	3 • 前	30	2	0			0			0	
73	0			シスコ認定技 術 3	シスコシステムズのWeb教材を使用し、通信 プロトコルやネットワーク機器の設定方法 について学習します。	3 • 前	90	3			0	0			0	
74	0				代表的なクラウドサービスについて資格対 策も踏まえながら実習を通して学習をしま す。	3 • 前	60	2			0	0			0	
75	0				代表的なクラウドサービスについて資格対 策も踏まえながら実習を通して学習をしま す。	3 • 後	60	2			0	0		0		
76			0		【ネットワーク・クラウド専攻】プロジェクトの立ち上げから設計・構築、テストおよびプレゼンテーションまでの一連のプロセスをグループワークで実施します。	3 • 後	120	4		0		0		0		
77			0	インターン シップ 1	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	3 • 後	30	1			0	0		0		
78			0	インターン シップ2	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	3 • 後	60	2			0	0		0		
79			0	インターン シップ3	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	3 • 後	120	4			0	0		0		
80			0	校外研修 5	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	3 • 前	30	1			0		0	0		
81			0	校外研修 6	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	3 • 後	30	1			0		0	0		
82	0			キャリアデザ イン7	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4 · 前	60	4	0				0	0		
83	0			キャリアデザ イン8	集団面接、グループディスカッションなどを行い大勢の中で意見を発言できるようにします。また、企業の仕組みや各種保険についても学びます。	4 · 後	60	4	0				0	0		

		L業 分類		課程 ITスペシ	(ヤリスト科) (セキュリティ専攻)				+3	受業プ	E:±	場	ᇎ	教員		
		選択		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習	校内	校	専	兼	との
84	0			ファイナン シャルプラン ニング	将来のライフイベントに沿った資金計画や 資産管理について考えます。	4 · 後	30	2	0				0	0		
85			0	スポーツ実習 4	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高めます。	4 · 後	30	1			0	0		0		
86	0			外国語 4	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	4 • 前	30	2	0			0		0		
87	0			情報系資格対 策講座 7	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	4 · 前	60	4	0			0		0		
88	0			情報系資格対策講座8	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの 各種検定試験対策を学びます。	4 · 後	60	4	0				0	0		
89			0		基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	4 • 前	45	3	0			0			0	
90			0	基本情報対策 講座 7	基本情報技術者試験の午前試験免除に向け た対策講座です。	4 · 後	45	3	0			0		0	0	
91			0	資格対策講座 7	各種検定資格の対策を行います。	4 • 前	30	2	0			0		0	0	
92			0	資格対策講座 8	各種検定資格の対策を行います。	4 · 後	30	2	0			0		0	0	
93			0	特別講座 7	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	4 • 前	15	1	0			0		0	0	
94			0	特別講座8	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	4 · 後	15	1	0			0			0	
95	0			卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループ ごとにテーマを決め、作品の制作や自由研 究を行います。	4 • 前	270	9			0	0		0	0	
96	0			卒業制作2	在学中に学習したことを生かしてグループ ごとにテーマを決め、作品の制作や自由研 究を行います。	4 · 後	270	9			0	0		0	0	
97			0	インターン シップ 4	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	4 · 後	30	1			0		0	0		
98			0	インターン シップ 5	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	4 · 後	60	2			0		0	0	0	

				課程 ITスペシ	ヤリスト科)(セキュリティ専攻)				l 15	5 ALC =	L \	1B	=-	+/L	- 1	
	必修	分 選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義		実験・実習・実技	場 校 内	校	事 任	兼任	企業等との連携
99			0	インターン シップ 6	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	4 · 後	120	4			0		0	0	0	
100			0		IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	4 • 前	30	1			0		0	0		
101			0		IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	4 · 後	30	1			0		0	0		
			슴캶	†	101	1	4目		2	232 (4935)	単位	立 (単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等					
卒業要件	· 卒業時に必修科目3300時間取得および選択科目210時間以上、合計3510時間以上取得すること	1 学年の学期区分	2 期				
履修方法	1年次は必修870時間履修すること 2年次は必修900時間履修すること 3年次は必修690時間、選択科目210時間以上履修すること 4年次は必修840時間履修すること	1 学期の授業期間	15 週				

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。